

(第1面)



産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 19日

茨城県知事

殿

提出者

住 所 茨城県つくば市大形 1600

氏 名 東亜道路工業株式会社 茨城支店

支店長 橋元 純

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 029-867-2621

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東亜道路工業株式会社 茨城支店
事業場の所在地	茨城県つくば市大形 1600
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 127,057千円（令和5年度）
③従業員数	15人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場発生 ⇒運搬（委託又は自社） ⇒中間処理施設処分（委託） ⇒再生・再利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者 茨城支店 支店長
 産廃処理責任者 茨城支店 工事課長
 産廃物担当者 茨城支店 現場担当者

- ・ 廃棄物処理計画の作成
- ・ 運搬業者、処理業者の選定及び管理
- ・ 委託契約の締結
- ・ 産業廃棄物管理票の交付、管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンがら	アスがら
	排出量	133.38 t	672.8 t
	（これまでに実施した取組） 当社が設計・施工の場合は、建設副産物等を考慮し、計画・設計するが、ほとんどの工事は、発注者による設計仕様に基づいている。 施工計画の段階において、発注者と協議し抑出抑制の提案などを行っている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンがら	アスがら
	排出量	100.00 t	600.00 t
	（今後実施する予定の取組） 産業廃棄物の発生を抑制する施工方法や、発生する産業廃棄物を再生品として利用できる方法を検討し、発注者に提案していく		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） アスファルトがら・コンクリートがら等発生時の段階で細かく分別し、中間処理施設への運搬
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

同上

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類

建設混合廃棄物

その他がれき類

排 出 量

48.00 t

317.94 t

(これまでに実施した取組)

当社が設計・施工の場合は、建設副産物等を考慮し、計画・設計するが、ほとんどの工事は、発注者による設計仕様に基づいている。施工計画の段階において、発注者と協議し抑出抑制の提案などを行っている

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

建設混合廃棄物

その他がれき類

排 出 量

40.00 t

300.00 t

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の発生を抑制する施工方法や、発生する産業廃棄物を再生品として利用できる方法を検討し、発注者に提案していく

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
アスファルトがら・コンクリートがら等発生時の段階で細かく分別し、中間処理施設への運搬

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
同上

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

同上

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	-
排出量	11.8 t	- t

(これまでに実施した取組)

当社が設計・施工の場合は、建設副産物等を考慮し、計画・設計するが、ほとんどの工事は、発注者による設計仕様に基づいている。施工計画の段階において、発注者と協議し抑出抑制の提案などを行っている

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	-
排出量	10.00 t	- t

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の発生を抑制する施工方法や、発生する産業廃棄物を再生品として利用できる方法を検討し、発注者に提案していく

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
アスファルトがら・コンクリートがら等発生時の段階で細かく分別し、中間処理施設への運搬

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンガラ	アスガラ
	全 処 理 委 託 量	133.38 t	672.8 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	- t	- t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	133.38 t	672.8 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
	産業廃棄物の発生を抑制する施工方法や、発生する産業廃棄物を再生品として利用できる方法を検討し、発注者に提案している		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	その他がれき類
	全 処 理 委 託 量	48.00 t	317.94 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	- t	- t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	48.00 t	317.94 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
	産業廃棄物の発生を抑制する施工方法や、発生する産業廃棄物を再生品として利用できる方法を検討し、発注者に提案している		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	-
	全 処 理 委 託 量	11.8 t	- t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	- t	- t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	11.8 t	- t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
	産業廃棄物の発生を抑制する施工方法や、発生する産業廃棄物を再生品として利用できる方法を検討し、発注者に提案している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンガラ	アスガラ
	全 処 理 委 託 量	100.00 t	600.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	100.00 t	600.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・再生利用業者への搬出を基本とする ・処理業者との委託締結時に現場位置、搬出時期、運搬業者等の確認 ・マニフェスト伝票の管理徹底 		
	※事務処理欄		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	その他がれき類
	全処理委託量	40.00 t	300.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	40.00 t	300.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者への搬出を基本とする ・処理業者との委託締結時に現場位置、搬出時期、運搬業者等の確認 ・マニフェスト伝票の管理徹底		
	※事務処理欄		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	-
	全処理委託量	10.00 t	- t
	優良認定処理業者への 処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	10.00 t	- t
	認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者への搬出を基本とする ・処理業者との委託締結時に現場位置、搬出時期、運搬業者等の確認 ・マニフェスト伝票の管理徹底		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。